

青少年ふくしま

福島県青少年育成県民会議
第44号
平成26年10月21日(火)

第36回少年の主張県大会

～明るく前向きに、自分のできることから～

去る9月29日(月)、矢吹町文化センターを会場として「第36回少年の主張福島県大会」が開催されました。今年度は県内39市町村の中学生から15,404点の作文応募がありました。各市町村民会議から本県民会議に118点が推薦され、第1次・第2次審査により決定された代表者16名が、日ごろ考えている自分の思いや願いを780名の聴衆を前に堂々と発表しました。発表に先立ち、毎年「少年の主張」を聴くのを楽しみにしていच्छるといふ佐藤雄平福島県知事と開催地の野崎吉郎町長よりご挨拶とあたたかい励ましの言葉をいただきました。



各発表者は、持ち時間(5分程度)の中で表現力豊かに自分の考えを述べました。会場では地元矢吹中学校の全校生徒はじめたくさんの方が真剣にそれぞれの発表に耳を傾けていました。また、司会は矢吹中学校3年生の関根翼さんと渡邊美幸さんが担当し、スムーズに進行してくれました。主張の内容は多岐にわたりましたが、どの発表からも「明るく前向きに、自分のできることから努力していこう」という意欲が伝わり胸が熱くなりました。福島県の未来を担う強くなやかな精神は心強いものです。発表終了後は矢吹中学校吹奏楽部の皆さん



によるすばらしい演奏を鑑賞し心やすらぐひとときとなりました。引き続き審査結果発表と講評を聞き、表彰式では杉原陸夫審査委員長より最優秀賞1名、優秀賞5名、優良賞10名に賞状と輝くトロフィーや盾が授与

されました。

以下に発表者の主張概要をご紹介します。(ホームページで全員の発表を聞くことができます)



<発表者の主張概要紹介>

最優秀賞 これからの社会に求めるもの 巻 幸星さん

(会津若松市立河東中学校3年)

小学生のころ父の仕事の都合で中国に住み、一部メディアからの情報だけで抱いていた中国に対する印象が大きく好転した。東日本大震災後に帰国したが福島風評被害にショックを受けている。中国や福島の悪いイメージそして身近なところにある「いじめ」も一面だけで決めつける偏見が原因ではないか。相手を知り新しい見方や考え方で偏見を無くしていこう。

優秀賞 心で聴く 後藤潤希さん(喜多方市立高郷中学校3年)

「左耳が聞こえないっていうところも含めて潤希なんじゃない。」という母の言葉は意外だったが、今の生活が「楽しい人生」であることを再確認できた。文化祭で一生懸命練習したダンス踊り終えたとき、歓声と拍手はうねりのように心に伝わってきた。聞こえない左耳のおかげで「行動や笑顔から聴く」ようになり、左耳にも周りの人たちに感謝している。

優秀賞 「福島」を伝える 藤井万希子さん(小野町立小野中学校3年)

水俣病について事前学習はして出かけたのだが「百聞は一見に如かず」だった。被害者でもある語り部の方からお話を聞きながら資料館を見学して、身体的な苦しみはもとより周囲からの差別について実感できた。そして「差別」は正しい知識によって解消することを信じ、現在の福島を正しく正直に伝え希望に満ちた福島を創っていけると確信している。

優秀賞 チャンスを生かす ポピオコ・アンシェルモ・クルーズさん

(南相馬市立原町第三中学校3年)

去年の3月に来日したが、日本の寒さより大変だったのは日本語の習得だった。中学2年の勉強の言葉は本当に難しいという大ピンチだったが、あきらめずがんばり、タガログ語、英語とともに3つめの言葉としてマスターしつつある。語学を生かせばフィリピンと日本、そして世界に関わることができる。ピンチから逃げず、向き合っただけでチャンスを広げたい。

優秀賞 水俣とフクシマ 田崎 杏さん(会津坂下町立坂下中学校3年)

東日本大震災後、水俣病から立ち直った経験を原発事故後の福島の復興に役立てたいという水俣市長さんからのメッセージがきっかけで、県内40名の中学生の一員として水俣市を訪問した。その中で「正直に生きること」「環境を変え元の水俣に戻そう」という信念と努力を学んだ。未来をになう自分たちが福島を変えるため精一杯努力をしていきたい。

優秀賞 地震に負けない蔵をつくる 大槻壮平さん(白河市立白河中央中学校3年)

東日本大震災で明治時代からの家業である醤油蔵の倒壊等大きな被害を受け、新工場に変わった。「六代目ができた」と可愛がってくれた亡き祖父に報い、福島の未来を担うためにもたくましく生きなければならない。そこで、自分の歩む新しい道として多くの人の役に立つ「新しいエネルギーの開発」という目標を定め、それを「地震に負けない蔵」として今を有意義に過ごしたい。

優良賞 心に届け 佐々木絵美さん(郡山市立郡山第六中学校2年)

友達と帰宅途中、知らない人とすれちがった。普通にあいさつしたが、返事はなかった。友達の指摘もあってその理由を考えた。すると、声は出したが相手の顔を見ていなかった。自分のあいさつが相手の心に届かなかったことに気づいた。あいさつはお手紙のようなもの。相手が返事を出したくなる手紙を書くように心をこめてあいさつしたい。

優良賞 残したい故郷 杉原正晃さん(柳津町立西山中学校3年)

毎年体育の日に実施される地区町民大運動会は活気にあふれ、とても楽しい。一方、「過疎化」と「少子高齢化」の影響が大きくなってきている。心優しい人々と豊かな自然の中で幸せに生きてきた大好きなふるさとを未来へ残したい。そのために地元をもっと学び理解して情報を周囲に発信し、多くの人に知ってもらい来てもらおう努力が必要だと思う。

優良賞 **奄美の空で** 但野奈津美さん(南相馬市立原町第二中学校2年)

「南の樂園」ともいえる奄美大島のホームステイ先で教えてもらった奄美の歴史に衝撃を受けた。第二次世界大戦後、占領下の極貧生活の中で本土復帰を訴え続けたという。その連判状に14歳の少年の名前があったことを知り、同じ14歳の自分を振り返るきっかけとなった。未曾有の大震災という苦難の歴史を生きる勇氣に変えて強く生きていきたい。

優良賞 **夢の実現に向けて** 山口阜貴さん(川俣町立川俣中学校3年)

幼い頃から将来の夢はいくつかあった。その理由は「好きだから」だけだったが、中学2年生の職場体験で「その仕事に就いて何をしたいのか」という明確な目標を持つようになった。「あたりまえ」を作り出すために多くの人々が賢明に頑張っている姿を尊敬し憧れを抱いた。夢の実現のため、何事にも精一杯心を込めて取り組むようにしている。

優良賞 **未来に向かって** 郷 琴里さん(石川町立沢田中学校3年)

「うつくしま復興大使」に選ばれ、東京・千葉・埼玉を訪問して福島の実状や感謝を伝えた。訪問先で「助け合うのは当たり前」「福島の未来を作るのは皆さん、いつでも力になりますよ。」という言葉をかけてもらった。「命に関わる本当の恐怖」から立ち上がった自分たちの背中には「本当の優しさ」があることを知り、未来に目を向けられるようになった。

優良賞 **歌舞伎から学んだたくさんしたこと** 猪股美恵さん

(南会津町立檜沢中学校3年)

母に強く勧められて始めた子供歌舞伎だが、次第に本気になり「相手の目を見て話を聞く」「演技には普段の自分が出るから日頃の生活を正さなければならない」等、厳しい練習を通して人間として大切なことを学んだ。最後の舞台では「泣き」の演技を苦勞の末やり遂げた。伝統文化の奥深さを知り周りの人たちの支えに心から感謝しこれからは生かしたい。

優良賞 **勇氣を出して** 相川うららさん(西郷村立西郷第二中学校3年)

過去、自分がいじめを受けて悩んでいた時に支えてくれたのは先生、仲の良い友達、家族だった。アドバイスやサポートを受けながら自分で「強い気持ちをもとう。」と決め、自然に自信を持ち笑顔になることができた。いじめられている人には「一人で悩まず勇氣を出して相談して」と、いじめている人には「逆の立場を考えて」と言ってあげたいと思う。

優良賞 **快適な暮らしは挨拶から** 星 美澄さん(矢吹町立矢吹中学校1年)

幼稚園の頃から挨拶の大切さは教えられ、挨拶を続けてきた。しかし中学生になると恥ずかしくて挨拶できなくなり、するとまた、挨拶しなかったことに罪悪感が生まれた。あるとき思い切って自分から挨拶したら男性が挨拶を返してくれた。その時とても清々しい気持ちになり再び自分から挨拶をするようになった。矢吹町に挨拶の輪を広げてゆきたい。

優良賞 **信号機から伝わるものは** 渡邊美咲さん(玉川村立須釜中学校3年)

交差点の二つの信号が同時に赤になる瞬間は、普段の生活に通じるヒントだと気づいた。人間がケンカを避けるために、立ち止まって自分自身を振り返るのが「赤」の時間。たとえ青信号でも、「安全」と思い込まず「より注意して渡る」ようにすれば事故が減る。「譲り合う心」「思いやり」「冷静な判断力」を中学時代の柔軟な心で養っていきたい。

優良賞 **今、考えること** 奥原理香子さん(棚倉町立棚倉中学校3年)

東日本大震災後の後、「フクシマ」として世界に広まっていく違和感と恐怖の中でもふるさとで学び、「教職に就く」「職業と家庭生活の両立」をめざしている。仕事と家庭を両立させてきた母の姿や学級委員としての経験から女性が社会の中で活躍する意義を感じる。少子化の問題もあるが、安心して職業と家庭を持つことをあきらめないことが大切だと思う。



熱心な聴衆

表彰式を終えて



<お知らせ>

第37回福島県青少年健全育成推進大会

11月21日(金)13時30分より 福島県文化センター 小ホール

少年の主張、家庭の日作文コンクール最優秀者の発表、絵画・ポスター最優秀・優秀作品の展示をします。どなたでも参加できます。

ぜひお出でください!!